

OAP彫刻の小径2025-27

韻をふむ・修景とヤキモノ | 井上雅之、中井川由季

OAP Sculpture Path 2025-27 | *Sculpted Rhymes: Landscape and Fired Forms* | Masayuki Inoue, Yuki NakagawaYAGI ART MANAGEMENT, INC.
ARTCOURT Gallery

[左]
井上雅之
《H-221》
陶
197 x 267 x 168 cm
2022年
茨城県陶芸美術館蔵

[右]
中井川由季
《したたる速度を測る》
陶、鉄
317 x 50 x 53 cm
2020年

*いずれも参考作品

大阪市北区の「OAP彫刻の小径」において、陶という素材と向き合い、大型作品を制作する井上雅之(1957-)と中井川由季(1960-)による野外彫刻展を開催します。

自ら形を変えていくかのようなしなやかな造形。ひんやりと、じんわりと、温度をまとう陶の肌合い。両氏の作品は「形づくること」そのものの愉しさと、土という素材が持つ本質的な魅力に満ちています。複数のパーツが重ねられた作品は、まるで言葉が韻を踏むような心地よいリズムと、確かな技術に裏打ちされた美しさを湛えています。本展では、既設の展示台へ腰掛けるような球体の重なりや、小径の中で新芽を伸ばす樹木のようななかたちなど新作8点が登場します。

素材の反応や展示空間の息遣いを丁寧に感じ取り、それらに寄り添い応答しながら新たな風景を紡ぎ出してゆく作品群が、楽しげに、密やかに、四季と響きあう「彫刻の小径」をぜひご体感ください。

■ 作家コメント

井上、中井川ともに長い間、陶を素材として大きな立体作品を制作しています。

井上は自身が作る作品を客観視し、素材から受け取ったものを取り込み、再び形に反映させながら制作を続けています。

また、中井川は小さな自然物からモチーフをもらい、抽象化し拡大させて制作しています。

今回の野外設置にあたって存在感のある台と作品との、また修景との関係をどのように持たせるかが課題となりました。

台と作品がなるべく乖離せず、台の高さを生かしつつ、街路樹や藤棚に埋没しないようにその場に自ずから、

佇ませることが出来ればと考えています。

井上雅之・中井川由季

□ OAP彫刻の小径について

OAP彫刻の小径は、天神祭でも知られる大川を臨む水辺のプロムナード沿いに位置します。一年半毎にテーマを設けて展示替えを行い、親しみやすくをモットーに国内外で活躍する気鋭作家の作品を紹介する野外彫刻展を開催しています。

【展覧会概要】 展覧会タイトル：OAP彫刻の小径2025-27

韻をふむ・修景とヤキモノ OAP Sculpture Path 2025-27 *Sculpted Rhymes: Landscape and Fired Forms*

会 期：2025年 11月 – 2027年 4月

会 場：OAP彫刻の小径 (OAP公開緑地内、大川沿いのプロムナード／アートコートギャラリーより徒歩1分)

出展作家：井上雅之、中井川由季

主催：アートコートギャラリー (株式会社八木アートマネジメント) 協賛：三菱地所株式会社、三菱マテリアル株式会社、三菱地所プロパティマネジメント株式会社

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当：八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

井上雅之

Masayuki Inoue

ロクロの回転によって立ち上がりしていく土の造形に実在感を感じ、絵画から陶へと転向した井上は、80年代中頃より本格的に陶の作品を発表し始めました。意図した行為に呼応して現れる形態や、焼成されて硬く変化する性質など、制作過程の中に人為と自然との往還を見出し、素材の反応を一旦受け止め、観察し、再構成することで形をつくりあげていきます。成形した形状を解体し、その破片による形を再構築して、空間に立体的なドローイングを描いていくように展開される作品や、板状のパーツをボルトで組み上げたダイナミックな大型作品など、様々なかたちを生み出します。

1957 兵庫県生まれ

1985 多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了

多摩美術大学大学名誉教授

| 主な個展 |

2025 「井上雅之展 雛形より」ギャルリー東京ユマニテ、東京 ['24, '23, '22, '18, '12, '10, '05, '97]

2022 「井上雅之 描くように造る」茨城県陶芸美術館

2020 「井上雅之展 形の在り処」常陽藝文センター、茨城

2015 「2014年度著名作家招聘事業 井上雅之 初形より-展示」兵庫陶芸美術館

「井上雅之 初形より-花型」山口県立萩美術館・浦上記念館、山口

1984年以降、村松画廊(東京)、ギャラリー小柳(東京)、ギャラリーワタナベ(東京)、番画廊(大阪)他で発表

| 主なグループ展 |

2024 「土が開いた現代 革新するやきもの」和歌山県立近代美術館

2018 「第13回パラミタ陶芸大賞展」パラミタミュージアム、三重

2017 「第24回日本陶芸展 大賞受賞」大丸東京店他巡回(大賞受賞)

2016 「革新の工芸-“伝統と前衛”、そして現代-」東京国立近代美術館 工芸館

「杭州国際現代陶芸ビエンナーレ」中国美術学院象山キャンパス民芸博物館

2015 「雨引の里と彫刻」茨城県桜川市 ['15, '13, '11, '08, '06, '03, '01]

2007 「平成17-18年度文化庁賞上優秀美術作品披露展」日本芸術院会館、東京

2005 「アルス・ノーヴァー現代美術と工芸のはざまに」東京都現代美術館

2003 「大地の芸術 クレイワーク新世纪」国立国際美術館、大阪

2001 「現代陶芸の精銳-21世紀を開くやきものの手法とかたち-」茨城県陶芸美術館

2000 「日蘭友好400年記念 Japanese Ceramics」ギャラリー・デ・ウィット・フト、オランダ

| パブリックコレクション |

愛知県陶磁美術館／茨城県陶芸美術館／岐阜県現代陶芸美術館／国立工芸館／国立国際美術館／滋賀県立陶芸の森陶芸館／滋賀県立陶芸の森創作研修館／兵庫陶芸美術館／文化庁／宮城県美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館／和歌山県立近代美術館／

アルゼンチン近代美術館日本の家(サンイシドロ、アルゼンチン)／エバーソン美術館(シラキュース、アメリカ)／国立歴史博物館(台北、台湾)／中国美術学院(杭州、中国)／ミネアポリス美術館(アメリカ)／ヴィクトリア&アルバート美術館(ロンドン、イギリス)／プリンセスホフ陶芸美術館(レーワルデン、オランダ)



《HU-151》
陶 | 165 x 172 x 78 cm | 2015年



《Mq-2384》
陶 | 8.5 x 8.2 x 8 cm | 2023年



《K-935》陶 | 110 x 65 x 85 cm | 1993年
ヴィクトリア&アルバート美術館蔵

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com

中井川由季

Yuki Nakaigawa



80年代後半より陶を表現素材とする作家として活躍する中井川もまた、粘土を手捻りで形作り焼成した量感のある大型作品を中心に発表してきました。「クヌギ林の庭にうごめく生き物たちの、美しくグロテスクな形の発見が作品を作る動機となる」と語る中井川は、自然からインスピレーションを得て、陶ならではの柔らかさと肌触りを纏った温かみのある作品を制作します。少しづつ表情が異なるいくつかの形を並べたり積み重ねて構成される作品は、植物の種や昆虫の卵といった生命の基本単位となる形を連想させ、命を宿しているかのような不思議な存在感に満ちています。

1960 茨城県生まれ

1986 多摩美術大学大学院美術研究科修士課程修了

| 主な個展 |

2025 「中井川由季 地下に眠る」ギャルリー東京ユマニテbis、東京['22]

2023 「中井川由季展」ギャルリー東京ユマニテ、東京['22, '18]

2021 「中井川由季展」GINZA SIX蔦屋書店、東京

2013 「中井川由季展」番画廊、大阪

2012 「天の果実 Vol.1」ギャルリー志門、東京

2009 「受け止めるために沈み込む 中井川由季」村松画廊、東京

2003 「中井川由季の茶室 真昼の月」山口県立萩美術館・浦上記念館

| 主なグループ展 |

2023 「富岡Exhibition TT展 +」富岡岡製糸場西置繭所、群馬

「INTERPLAY インターパレイ-14人の表現と視線-」茨城県つくば美術館

「ラディカル・クレイ」シカゴ美術館、アメリカ

2021 「小さな宇宙 7」市之倉さかづき美術館、岐阜['17, '02]

2015 「雨引の里と彫刻」茨城県桜川市['13, '11, '08, '06, '03, '01, '99, '97]

2014 「ブラック & ホワイト」JOAN B MIRVISS LTD、ニューヨーク、アメリカ

2013 「現代の日本工芸展」森上美術館、マイアミ、アメリカ

2011 「アーティストファイル-現代の作家たち-2011」国立新美術館、東京

2009 「未来へのタカラモノ」高島屋美術画廊 [東京日本橋、新宿、京都、大阪店巡回]

2007 「魅せられる…今、注目される日本の陶芸展」滋賀県立陶芸の森陶芸館 [静岡、東京、フランス、アメリカ巡回]

2005 「第3回京畿道世界陶磁ビエンナーレ」イチョン、韓国

2001 「現代陶芸の精銳-21世紀を開くやきものの手法とかたち-」茨城県陶芸美術館

| パブリックコレクション |

アルゼンチン近代美術館「日本の家」(アルゼンチン)／滋賀県陶芸の森 創作研修館(滋賀)／茨城県陶芸美術館／山口県立萩美術館・浦上記念館／

アジアアート美術館(アメリカ)／ミネアポリス美術館(アメリカ)／サミュエル・P・ハーン美術館(アメリカ)／シカゴ美術館(アメリカ)／シンシナティ美術館(アメリカ)／ガーディナー美術館(カナダ)／ワールド・セラミック・エクスプロジション・ファンデーション(韓国)



《あいまいな接合 木立の下に》
陶 | 37 x 1450 x 680 cm | 2013年



《固く集まる》
陶 | 81 x 74 x 78 cm | 2021年



《結びつきと絡まりt2》
陶 | 27.5 x 30 x 28 cm | 2021年

【お問い合わせ】アートコートギャラリー [担当: 八木・灰田] ※ビジュアル資料ご希望の方は、お気軽にお問合せ下さい。

〒530-0042 大阪市北区天満橋1-8-5 OAPアートコート1F TEL:06-6354-5444 FAX:06-6354-5449 E-mail:info@artcourtgallery.com www.artcourtgallery.com